

平成27年第10回 湯沢市教育委員会議事録

日 時：平成27年10月20日（火）午前9時00分

場 所：湯沢市役所 4階 44会議室

1. 会議に出席した委員

2 番	和 田 隆 彦
3 番	佐 藤 和 広
4 番	後 藤 美 喜 子
5 番	芳 賀 誠

1. 会議を欠席した委員

1 番	藤 井 泰 樹
-----	---------

1. 会議に出席した事務局職員

教育部長	山 内 信 弘
教育部次長兼教育総務課長	佐 藤 茂 樹
教育部学校教育課長	近 野 良 浩
教育部生涯学習課長	佐 藤 司
教育部教育総務課主幹	斎 藤 正 幸 （書 記）

1. 会議に提出された議案

議案第19号 指定管理者の指定について（三関コミュニティセンター）

【午前9時00分 開 会】

芳賀委員長 ただ今より第10回湯沢市教育委員会を開催します。
10月に入りまして非常に天候が良く、学校や生涯学習で色々な行事（スポーツ面、文化面）が行われておりますが、それぞれ成果をあげていることと思います。
それでは、次第によりまして会を進めます。

前議事録の承認

芳賀委員長 次第の2、前議事録の承認についてであります。事前配付されておりますが、訂正等ありましたらお願いします。

— 〈発言なし〉 —

芳賀委員長 ありませんか。

— 〈なし〉 —

芳賀委員長 それでは私からですが、9頁中段に委員長の発言が載っておりますけれども、これは前の近野課長の発言を受けて述べているのですが、文章にすると違和感がありますので、最初のところを次のように「てにをは」を変えてもらえればと思います。学校図書館のことを述べているのですが、文章を「これは本来教員の仕事なのですが、」として、文章を切らないでそのまま「今度、云々」と続けてもらえば、読んでお分かりいただけると思いますので、その点をよろしく願います。
それでは議事録につきましては、承認いたします。

議事録署名委員の指名

芳賀委員長 議事録の署名委員の指名であります。2番の和田委員、3番の佐藤委員をお願いします。

教育長報告

芳賀委員長 それでは、次第の3、教育長報告です。お願いします。

和田教育長 はじめにスポーツ活動関連です。新聞等で報道されておりますけれども、9月13日（日）の秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！横手大会について報告させていただきます。参加チームが36チームで、その中で湯沢市はA、Bの2チームで参加しました。結果ですけれども、Aチームが9位、Bチームが23位でした。湯沢市雄勝郡陸上競技協会の藤田会長によると、高校生の選手層の養成が課題になっているとのことでした。来年度は大館市で開催されます。

二つ目ですが、10月4日に第32回雄勝健康マラソン大会がありました。参加者が420名、天候にも恵まれ、小、中、高、一般男女のほか、特に親子ペアについては、多くの組が参加しておりました。

同じくスポーツ関連ですが、10月17日、第49回湯沢市駅伝競走大会があり

ました。エントリーは13チームでしたが、当日、横手警察署は事故事件があり、12チームの参加になりました。結果は、優勝が十文字チーム、準優勝が岩崎藩チームです。旧湯沢市内の7地区は全地区からチームが参加しております。課題として、来年度は記念の50回大会となりますので、可能であれば皆瀬・稲川・雄勝地区の参加を求めたいと思っています。

文化活動関連ですけれども、10月4日（日）に登録有形文化財山内家住宅の一般公開がありまして、今回は2階全体も公開され、参観者が多数おられました。

二つ目が、平成27年度日独交流中学生派遣事業についてです。今回の参加者は計13名で、湯沢南中が6名、湯沢北中が4名、稲川中が2名、雄勝中が1名となっています。男女内訳は、男子3名、女子10名です。団長は藤井副市長、随員は企画課の高橋直哉主任です。10月23日出発、11月1日帰国の10日間のホームステイ等となります。

生徒指導関連ですけれども、10月5日（月）第1回いじめ問題対策連絡協議会が開催されました。会長は副市長、委員数は9名です。案件ですが、平成27年度上半期での学校におけるいじめ相談報告ということです。実際にいじめ関連では、教育委員会への相談件数が2件、学校からの報告件数が2件の計4件について、事務局から内容等について説明し、委員からご質問を受けました。解決済ではありませんけれども、今後も継続した観察指導をしていきたいと思っています。その後、対応等について、いじめ相談について、未然防止について協議がなされました。

最後ですが、湯沢市公開研究会が11月11日（水）、今回は山田中学校ブロックで、公開授業が山田小、山田中です。全体会・講演会は、湯沢文化会館ですが、この中で、秋田大学教育文化学部の成田雅樹教授の講演があります。

先ほど委員長からもお話がありましたが、学習発表会が盛んに行われており、雄勝小学校に行きましたら体育館が満員となっておりました。小中一体校舎ですので、児童がそれぞれの出番の時に体育館を通らなくても、中学校の校舎を通過して裏からステージに入ってもらえるということで、非常に使勝手が良いと感じました。非常に盛り上がりまして、校長は挨拶の中で、統合一年目の最初の学習発表会についての想いを話してくれ、その後、先生方が歌、踊りのパフォーマンスを披露してくれました。子どもたちは非常に落ち着いた演技で、指示等が無い中できばきと動いていると感じました。

また、湯沢北中学校の学校祭にも顔を出しましたが、保護者の色々な面での協力がありました。ジャスミンとダネルの女性ALT2人は、前生涯学習課長の阿部さんの指導の下、舞妓姿で踊りを披露しました。男性ALTのサイモンは、阿部さんと殺陣の練習をかなりしまして、肩を痛めて出演はありませんでした。

以上です。

芳賀委員長

ありがとうございました。
今、教育長より色々報告がありましたが、何か質問等ございますか。

佐藤委員

山内家の一般公開ということですが、どれくらい来場されたのですか。

佐藤
生涯学習課長

550人位です。

佐藤委員

例年もそれくらいですか。

佐藤 生涯学習課長 藤 生涯学習課長 昨年の倍です。今回はうどんエキスポの2日目で日曜日の開催ということもあったのか、こちらでも観光ガイドの会員の方にもお願いいたしまして集客を講じたところ、思いのほか多数の方に来場いただいたところです。

芳賀 委員 長 シヤトルバスを走らせたのは良いアイデアですね。あれは教育委員会だけではないのですね。

佐藤 生涯学習課長 藤 生涯学習課長 山内家住宅へは教育委員会の職員が2台のワゴン車で送迎したものです。

芳賀 委員 長 大変良い取組みです。他にありませんか。

後藤 委員 いじめ問題対策連絡協議会で報告のあった事案ですけれども、小学校も中学校もどちらもあったのでしょうか。

近野 学校教育課長 学校からの報告があったのが、中学校1件、小学校1件。相談についても、中学校1件、小学校1件でした。

後藤 委員 生徒会でいじめ防止サミットをやった関係で、そのことを是非学校で広めていってもらえれば、もっともっと防げるのではとの思いがあります。子どもたちの意識を高めていくためにも、前年度、各校の生徒が集まって行ったサミットの内容を確認し合うなどして、より防げれば良いと思います。

和田 教育 長 10月27日の午後1時30分から午後3時30分まで小学生の子ども議会があります。ここで、小学生のいじめゼロ宣言を採択していただきたいと思っています。対象は5、6年生で、計44名です。

芳賀 委員 長 他にありませんか。

— 〈発言なし〉 —

議 事

芳賀 委員 長 それでは、次へ移ります。次第の4、議事です。議案第19号指定管理者の指定についてお願いします。

佐藤 生涯学習課長 藤 生涯学習課長 議案第19号三関コミュニティセンターの指定管理者の指定についてでございます。提案理由でございますが、施設の有効利用と管理運営を効率的に行うため、指定管理者を指定することにつきまして、議会の議決を求めるため市長に申し出るものでございます。指定管理者の所在地及び名称でございますが、湯沢市上関字道下45番地2 三関コミュニティ推進委員会でございます。指定の期間でございますが、平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5年間でございます。なお、本推進委員会とは、平成18年から2期10年間に亘りまして指定管理の協定を締結しておるところでございますが、今回その期間を更に5年間延長するものでございます。

以上でございます。

芳賀委員長

ありがとうございました。
三関コミュニティセンターの指定管理についてであります、質問や意見はございますか。

－ 〈発言なし〉 －

芳賀委員長

よろしいですか。

－ 〈異議なし〉 －

芳賀委員長

それでは承認といたします。

その他

芳賀委員長

次は次第の5、その他であります。
報告をお願いします。

佐藤
教育総務課長

教育総務課から4件報告させていただきます。

報告の1枚目ですけれども、湯沢雄勝市町村教育委員連絡協議会研修会でございます。前からお話しておりました日程調整、大変難儀しておりましたけれども、11月4日で決定いたしました。先ほど委員長不在のご連絡をいただいたわけですけれども、大変申し訳ありませんが日程調整の都合上、この日にちしかございませんのでどうかよろしくお願いいたします。研修内容につきましては、ジオガイドが付いたジオサイトめぐりということで、午後2時から5時までです、午後2時前までに市役所ロビーに集合していただきたいと思っております。情報交換会は午後5時30分から予定しております。

次のページをご覧いただきたいと思っております。全州市町村教育委員会委員長・教育長会議の第2回目でございます。内容は、英語のコミュニケーション能力ということでございまして、記載の日程のとおりでございます。今回は委員長、教育長だけでなく、教育委員の皆様にも招集範囲を広げていくということでございましたので、必ず出席ということではございませんが、ご希望があれば一緒に行っていただければと思っておりますので、前日あたりまででも結構ですので事務局に連絡をいただければと思っております。よろしくお願いいたします。

次に、統合学校給食センター建設工事の件でございます。これにつきましては、施設訪問の際に工事現場を見ていただきましたとおり、工事が止まっている状況でしたけれども、建築工事を開始したところ、事前の地質調査の結果と異なりまして、地盤が非常に軟弱であるということが判明いたしました。その結果、いわゆる地盤改良工事を行う必要があるということになっております。この結果、工事の期間延長と工事量の増加が必要となり、現時点で正確な数字が出ておりませんが、いずれ数値を把握し、12月議会に変更の案件を上げなければならないということをご報告したいと思っております。大体、工期で3ヶ月程度、工事費で4、5千万円程度の増額が必要となります。建築工事の部分だけではございますが、当然、電気と機械設備についても、工期はそれに伴って延びるというようなこととなります。建物の完成そのものについては、3ヶ月延びても12月末ごろということですので、現時点では、4月1日の施設の供用開始には特に問題がないと考えております。

最後ですけれども、石綿含有保温材等の使用状況調査結果についてござ

います。ご承知の方もいらっしゃるかと思いますが、先週の金曜日はNHK、土曜日は魁新報で報道になっております。石綿を含有している学校施設が秋田県で10校あり、そのうちの2校が本市にあるということで、具体的な名称につきましては、三関小学校と山田中学校でございます。これは平成26年6月1日施行の石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の一部改正がありました。これに伴いまして、石綿を含有する貼り付けられた保温材（煙突の中の石綿）を調査するということが、昨年7月に文科省から通知がありまして、本市でも委託料を予算化いたしまして調査し、12月に報告していたものが本年9月頃から文科省や県を通じて発表になったということで、対象校は2校ということでございます。国・県からは、石綿を含有している問題のある煙突について、焚かないようになどの具体的な指示はございません。環境基準につきましては、空気中10あたり石綿の繊維が10本が基準となっておりますが、この辺で空気中の調査を常に行っているところはございません。県の環境白書等を見ますと、石綿を含んでいる工事現場の境界付近であっても、その数値が0.6（10本に対して1本に満たない状況）、通常的环境であれば0.2（10本に対して0.2本）という状況で、環境基準には及ばないということで問題はないだろうという状況でございます。また、この問題の引金になりましたのは、国交省が平成22年頃に調査しているものがありますが、これについても非常に低い濃度の石綿の繊維の飛散が確認されているという状況で、全体的に見ると、即刻なにか影響があるという状況ではないということでございます。本市としては、対象施設が2校と確定されましたので、その2校のボイラの空気中の石綿繊維の調査をするということです。これは、ボイラの焚き始めの時に飛散量が一番多いということですので、2校と測定業者との日程を調整いたしまして11月上旬頃に調査をする予定でございます。その調査結果によってということになるかと思いますが、煙突の使用を止める必要があれば、それに対応した処置をしていくということになっていくと思われまます。今現在は、空気中に飛散するアスベストの量を調査するという状況でございます。

以上でございます。

芳賀委員長 4件ありましたので、教育総務課の報告に何か質問等ありましたらお願いします。

佐藤委員 確認ですけれども、11月4日は午後1時30分までこちらに集合するよう言われたのでしたか。

佐藤教育総務課長 午後2時に10分位前まで結構です。

芳賀委員長 他にございませんか。

— 〈なしの声〉 —

芳賀委員長 石綿の件ですけれども、これは学校の煙突すべてですか。それとも特定の煙突ということになりますか。

佐藤教育総務課長 これまで石綿については、露出で吹込まれたものや校内の部分については対応してまいりましたけれども、先ほど申し上げましたとおり、平成26年に法律が変わった時点で、石綿を貼り付けたものも対象とするとしたことが原

因でございます。石綿を貼り付けたというのは、具体的には、煙突の中に石綿が入っている状況でありまして、本市の今の調査の対象は14本でございます。その中には、石綿が貼り付いていない金属製のものや、学校が新しいために既に石綿を含んでいない耐熱のものを使っているものもでございます。それから、使用していない校舎（横堀小学校等）については、ボイラを使用していない状況があります。また、劣化していない石綿もでございますので、劣化しているという状況は先ほど申し上げました2校とういうことで、14本の対象中、2本ということでございます。

芳賀委員長 給食センターの地盤の軟弱に対応する工法は決まったのですか。

佐藤教育総務課長 一応決まっております。引き上げた土壌に改良剤を加えて、元に戻すという形のもので、現在、施工できる業者が全国に1社しかないという状況ですが、今月末あたりから工事に入れる状況でございます。土壌改良しながら全部の状況を見ていくこととなりますので、全体の工事量としては、やりながらでないと把握できないということがありまして、もう少し時間が掛かる状況でございます。

芳賀委員長 マンションの沈下の問題もあって騒がれておりますから、地盤につきましましては、しっかりした強度を持たせるために取り組んでください。
他になれば、次は生涯学習課にお願いします。

佐藤生涯学習課長 スポーツ施設に関するアンケート調査結果についてでございます。
資料の1頁をご覧くださいと思います。今回の調査につきましては、今年度中に策定を予定してございます「湯沢市スポーツ施設整備基本計画」に反映させることを目的といたしまして、8月に満16歳以上の方1,200人を対象といたしまして、アンケート調査を実施したものでございます。有効回収数につきましては415件、回収率は34.6%でございました。この回収率についてでございますが、統計学上、住民の意向を把握するための有効回答数は、本市の人口規模では380件ということでございますので、今回の結果は、意向の把握には十分な回収数であるということでございます。

次に2頁でございます。今回のアンケートの回収数を、地域ごと、年代別、男女別と区分をした表でございますが、上段に地域ごとの回収率、回収数を掲載してございますが、どの地域も概ね30%程度の回収率ということで、概ね均等の回収率でございました。また、年齢別、男女別につきましては、下の円グラフのとおり、こちらも概ね均等に回答いただいているというような状況でございました。

次に3頁でございます。こちらでは現在市が保有いたしますスポーツ施設の利用状況について伺ってございます。はじめに施設の利用の頻度でございますが、全ての施設におきまして利用していないと回答した方の割合が非常に多く、利用の頻度に差はありますものの、その中でも多くの市民に利用されている施設は稲川スキー場ですとか総合体育館等という状況でございました。

次に4頁でございます。問5でございますが、こちらでは前の質問で「利用していない」、又は「年数回」と回答された方に伺っております。その理由として伺っておりますが、「利用する必要がない」が最も多く、次いで「年数回の利用で十分である」となっております。また、その他の理由といたしましては、「時間がない」、「機会がない」、「子どもが成長したため」などの理由となっております。

次に5ページでございます。こちらでは、今後のスポーツ施設の再編のあり方について伺ってございます。はじめに問6では、現在市が保有する施設の老朽化についての市民の認知度について伺ってございますが、「知らない」と回答した方が54%を占め、「知っている」を8ポイント上回っている状況でございます。次に問7でございますが、こちらにつきましては、老朽施設や類似施設の統廃合などを行うスポーツ施設の再編についての賛否について伺ってございますが、「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせると87%で、賛成の意見が大多数を占めてございました。なお、4地域ごとの再編に対します反対、賛成の割合につきましては、円グラフの最後のほうに掲載してございますので、後ほどご覧いただきたいと思います。

次に6ページでございます。問8では「賛成」、「どちらかといえば賛成」とお答えになった方に、その理由を伺っておりますが、最も多かったものは「効率的な施設の管理、運営をする必要があるから」、次いで「市の財政状況を考え、将来世代に負担を残すべきでないから」となっております。また問9では、どのような施設を見直すべきかを伺ってございますが、最も多かったものは「老朽化が著しい施設」、次いで「利用者が少ない施設」、次に「経費に比べ利用率が低い施設」となっております。

次に7ページでございます。こちらでは、施設の見直しを行う際に必要と思われることについて伺っておりますが、再編時に考慮すべき事項といたしましては、「残す施設は利用しやすいように改善すること」という意見が最も多くなってございます。問11でございますが、こちらでは「どちらかといえば反対」又は「反対」とお答えになった方の反対の理由について伺ってございますが、「最寄りの施設が利用できなくなるから」が最も多く、次いで「長く親しまれてきたから」、次に「施設が減らされてサービスが低下すると思われるから」の順になってございます。

次に8ページでございます。問12についてでございます。こちらでは現在市で再編案を検討しているわけでございますが、その再編案に対します賛否について伺ってございます。いずれのスポーツ施設につきましても、市の再編案に賛成の方の割合が70%を超えている状況でございました。再編案に反対の意見が多かった施設でも11.8%に止まる結果となっております。なお、地域別、年齢別の賛否の回答状況は、巻末の参考資料に掲載してございますので、後ほどご覧いただきたいと思います。

次に9ページでございます。問13でございますが、こちらは新規施設整備に関します賛否について伺ってございます。新規施設整備に関しましては、反対が70%で、賛成の23%を大きく上回っている状況でございました。なお、地域別の賛否につきましては欄の最後のとおりでございます。問14でございますが、こちらでは「整備すべき」とお答えになった方に伺ってございますが、必要な施設としてもっとも多かったものはドーム型の運動場、次いで野球場、陸上競技場となっております。その他でございますが、総合的な運度施設、フットサルコート、グランドゴルフ場などとなっております。

次に10ページでございます。問15では必要な施設の理由を伺ってございますが、「積雪期に利用できるドーム型の運動場が必要」ですとか、「陸上競技を行う際、特別練習は十文字まで行かなければならないから」ですとか、「県内で野球場、体育館、陸上競技場のスポーツエリアが無いのは本湯沢市だけである」などのご意見をいただいております。次に問16でございますが、こちらでは「整備すべきではない」とお答えになった方に反対の理由を伺ってございます。最も多かったものが「既存施設を有効に活用すべきだから」、次いで「人口減少で利用者が減っていくことが見込まれることから」、次に「市の財政負担が増えるから」などの理由となっております。

最後に11頁でございます。こちらでは今後の利用者負担について伺ってございます。今後の財政状況の悪化などによりまして使用料の見直しが考えられることから、市民の方のご意見を伺っているところでございますが、「利用料を据え置く」が59%と最も多く、次いで「利用料を高くする」が25%というような状況でございました。

アンケート調査の結果につきましては以上でございますが、今後は、先に示しました素案を基に、今回実施いたしましたアンケート結果や小・中・高等学校、各関係機関から素案に対しましてご意見をいただいておりますので、これを参考といたしまして成案化に向けまして庁内で協議を進めていきたいと考えております。

以上でございます。

芳賀委員長

ありがとうございました。

回収率が規定を満たしているということですが、ちょっと少なかったような気がします。年齢的には、バランスが取れていておもしろい結果となっています。

この内容につきまして、あまり時間を多く取られませんが、質問やご意見ありましたらお願いします。

後藤委員

大変詳しく調査結果が出て分かりやすいと思っただけですが、見させていただきただけですが、この調査結果はやがて市民に公表する形になるのでしょうか。どのような形で公表するのでしょうか。

佐藤
生涯学習課長

この結果は、11月に開催されます議会全員協議会でお示した後に、市のホームページ等で公表したいと考えております。

後藤委員

ホームページだけですか。

佐藤
生涯学習課長

現在のところはその予定です。

後藤委員

ホームページを見ないお年寄りの方がほとんどです。情報がなかなか伝わらないのではないかと思いますので、出来れば市広報のほうが目を通されるのではないかと思います。

山内部長

色々ご協力いただいたことですので、できるだけ結果をお知らせするように考えたいと思います。

芳賀委員長

他にございませんか。

佐藤委員

結果については後藤委員がおっしゃられるとおりに出ておりますが、存続や廃止に関しては色々な問題が出てくると思いますので、その辺のところをよく考慮していただければと思います。

芳賀委員長

他にございませんか。

－ 〈発言なし〉 －

芳賀委員長 よろしいですか。

－ 〈異議なし〉 －

芳賀委員長 それでは、十分内容を活用されるように期待しております。
その他、ほかにございませんか。

－ 〈発言なし〉 －

芳賀委員長 よろしいですか。

－ 〈異議なし〉 －

芳賀委員長 それでは、これもちまして第10回湯沢市教育委員会を閉じます。

【午前9時36分 閉 会】